

ヴェルモット・フラワーズ

作：清野 和也

◎登場人物

中納(女)

月代(女)

マスター(男)

舞台は、福島県福島市にあるバー「Black comet club」。50代くらいのマスターと、20代後半くらいに見える女性店員。カウンター席が6席ほど。店の奥に4人が囲んで座れる小さなテーブル。店内は大人っぽく、しかし、ところどころ遊びご心のある置物がある。キャンドル、熱帯魚の水槽、本……。雨降りの梅雨の夜。20代の女性、月代が濡れた傘を手に店のドアを開く。店の中はほぼ満席。カウンターの真ん中の席が空いている。

月代　・・・こんばんは

中納　いらっしやいませ。どうぞ、空いている席に

月代　ええ

中納　雨、でしたか？

月代　はい。今日も雨で

中納　梅雨ですからね

月代　星、見てないなあ・・・最近

中納　何になさいますか？

月代　えっと、ネグローニってあります？

中納　かしこまりました。ネグローニ、お願いします

マスター　かしこまりました

月代　ひとつきも続いているんです

中納　ひとつき

月代　ちょっとおかしくないですか？ 星見えないが、ひとつき

中納　どうでしょう？

月代　あの！ わたし、月代って言います

中納　月代、さん。素敵なお名前ですね

月代　　そうですか？ ちょっと古臭くて。死んだお爺ちゃんがつけてくれたんですけど。・・・あの、年同じくらいじゃないですか？

中納　　どうでしょう？

月代　　そうですよね？ お名前お伺いしてもいいですか？

中納　　えっと、中納です

月代　　中納、さん

中納　　中納でいいですよ

月代　　じゃあ、中納

中納　　はい、月代さん

月代　　月代で

中納　　月代

月代　　ええ。・・・良かった。なんだかこういう場所一人で来ていいものかわかんなかったから

中納　　そうですか？

月代　　そう、でもなんだか惹かれちゃって。Black comet club。一緒に来る友だちも、いない？

中納　　そういうわけじゃないけど。ちょっと誘いづらくて。・・・はあ、雨は嫌だなー

月代　　雨、嫌い？

中納　　好きじゃない

月代　　そう

中納　　色んなコト思い出しちゃうから

月代　　いろんなこと

中納　　この季節なんてほんと最悪

月代　　・・・

中納　　やっぱりさ、星は夜空にあるべきだね、中納

中納　　え？

月代　　あるべき場所って話

中納　　おかしくない？月代、それ

月代　　なんで？

中納　　夜空に星があるべき、ならわかるけど。星はどこにもいかないでしょ？星は夜空にあるべき、なんて

月代　　だって、ひとつきよ

中納　　まーた。はい、どうぞ（ト、ネグロニーを渡す）

月代　　ひとつきもお星様はどこに行ってしまったんでしょう？

中納　　お星『様』。可愛いですね

月代　　いいじゃない、一応、女の子なんだし

中納 そうね
月代 はー・・・美味しい
中納 強いのによくそんな一気に呑めますねー
月代 ん。まあ
中納 ネグローニ
月代 これってどんなお酒何ですか？ マスター
マスター ネグローニ。ベルモットと：カンパリ、ドライジン。ベルモットっていうのは赤ワインの搾りかすにアルコールを混ぜたものです。綺麗でしょ
月代 うん、すごく綺麗
中納 アルコールにアルコールにアルコールって感じね
月代 何よ
中納 別にー？
月代 好きだったの
中納 ・・・・彼氏ですか？
月代 ううん。おじいちゃんが
中納 ・・・・
月代 星、見えないかなー
中納 雨降ってたんでしょ？
月代 雨が降っても、雲の上には星が出てるって言ってた
中納 ロマンチストね
月代 教えてもらったの
中納 今度こそ彼氏？
月代 ううん：変な人に
中納 変な人？
月代 そう。とつても変な人・・・。(ネグローニを飲んで)ね。星、持ってるでしょ
中納 もう酔ったの？
月代 ううん、全然
中納 そうかしら？
月代 ・・・・星。本当は中納も持ってるでしょ
中納 何言ってるの？
月代 隠さなくていいの。大人は本当はあの晩、みーんな貰ったんだから
中納 星を？
月代 そう。星を。空から降ってきた星
中納 へえ、そう
月代 マスターも、持ってるでしょ？星
マスター さあ？どうでしょ

月代 とぼけてばかり！知ってるけどね
中納 あんたは持つてるの？
月代 え？
中納 星
月代 秘密
中納 じゃあ、私も秘密
月代 ひどい
中納 ひどくないでしょ、別に
月代 ……あの人も持つてるのかなー
中納 今度こそ彼氏？
月代 ……
中納 あー、もう
月代 ひとつき前に、この街にはね、星が降ったの
中納 へえ
月代 まじめに聞いて
中納 聞いている、聞いている
月代 ぼたぼた星が落ちてきて、私たちの手の中にすとんって
中納 それで？
月代 それで…だからひとつきも、お星様が見えないのよ
中納 また、『様』
月代 いいじゃない、別に！
中納 星って、大きいのよ？
月代 え？
中納 そんな大きな星降ってきたら大変なことになっちゃわない？
月代 小さい星なの
中納 へえ
月代 手のひらに乗るくらいの。ううん、もっと小さい
中納 ……
月代 ……嘘。やっぱり嘘
中納 え？
月代 中納。こう思ったでしょ。一つでもきれいなのに、二つもあったら、どれほど綺麗でしょうって
中納 思っていないよ。一つも持っていないし
月代 嘘つき
中納 嘘じゃない
月代 嘘じゃないね。みんな嘘つき。綺麗なものをずっと自分の中に、閉じ込めておきた

中納 くて。誰にも見せたくなくて
・・・
月代 見せても良いって、思えるのかなあ
中納 他人事ね
月代 ・・・そう、ね
中納 ね。聞いていい？
月代 ダメ
中納 ・・・夢は叶った？
月代 え？
中納 星になりたいって夢
月代 なにそれ
中納 ううん
月代 私、中納とどっかで逢った？ お酒の席？ だとしたら私結構記憶なくしちゃう
から
中納 ・・・昔ね。昔
月代 そう
中納 戻ってきたんだ
月代 星っていい方、古くない？
中納 そう？ スターでしょ、スター
月代 (軽く笑いながら) 古いよ、中納
中納 もうちよつとだけ、頑張ってみたら？
月代 なれるもんならね
中納 まだちよつとしか東京、行ってないんじゃないの？ それじゃあ、分からないで
しよ
月代 分かるわよ。子どもじゃないんだから
中納 結果は？
月代 最後の一個だけはまだ
中納 じゃあ、まだ分かんないじゃん
月代 分かるの
中納 どうして？
月代 分かったから、ここに戻ってきたの
中納 話進んでないよ
月代 ぼくは、あの星のなかの 一つに住むんだ。
その一つの 星のなかで 笑うんだ。
だから、きみが夜、空をながめたら、
星がみんな笑ってるように 見えるだろう。

中納 すると、きみだけが、笑い上戸の星を見るわけさ。
上手
月代 冗談
中納 本当なんだけどな
月代 知ってる？
中納 舞台のことなんてなんにも。シェイクスピア？
月代 アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ
中納 もっと知らない
月代 星の王子様
中納 ああ、それなら知ってる
月代 星の王子様の舞台のオーディションだったの
中納 王子様役？
月代 そう
中納 あなた女じゃん
月代 少年だから良いの
中納 良いのって
月代 そう。良くなかった
中納 それが最後のオーディション？
月代 うん
中納 なんて受けたの。そんな見込みないの
月代 いいじゃない別に
中納 …それで、星の話？突然
月代 ううん、それは本当に
中納 何呑む？
月代 ネグロニー
中納 お水ね
月代 中納、星、持っていないんだ
中納 だから持っていないって
月代 ふーん。かわいそう
中納 何それ
月代 あの時、見た星を探してるのかもしれない
中納 え？
月代 (携帯に電話がかかってきて) 待って
中納 なってるけど
月代 だから待って
中納 恋人？

月代 違う
中納 ……鳴ってるけど
月代 東京から。03
中納 え！
月代 ……もしもし、月代です
中納 ……
月代 はい、はい。あ、はい、おめでどうございます。…え？ ああ、えっと、はい、
東京に…います。はい、ありがとうございます。頑張ります。ええ、はい
…
中納 (電話をきって)…星見えないかなあ
月代 雨
中納 ……
中納 ねえ、みんな持ってるんでしょ、星
月代 そう
中納 どうしたら皆が空に返すのかしらね
月代 知らない
中納 まじめに聞いてよ
月代 聞いてくれなかったじゃん、最初
…
中納 どうしたら返すのかしらね
中納 返させてみせてよ
月代 え？
中納 私が星持ってる、としたら。どうやったら返すと思う？
月代 無理
中納 諦めないの。女優でしょ
月代 やめて
中納 やめない
月代 やめて。ほんとに
中納 星は、空にあったほうが綺麗なんだって見せてよ
月代 そんなの、人による
中納 じゃあ、無理だ
月代 ……これ一杯おごってあげる
中納 お金で解決するの？
月代 そんなもんでしょ
中納 そんなんじゃ渡せない
月代 酔わせて、奪っちゃえば良い

中納 出来るものならどうぞ
月代 ……それなら、私が星の無い晩がどんなに嫌いか、教えてあげる
中納 同情しろってこと？
月代 ええ
中納 どうぞ
月代 星の無い晩は暗くて、寂しくて
中納 感情が入ってない
月代 うるさいなあ
中納 本当のことだもの
月代 ほんとに嫌いよ
中納 どうぞ、続けて
月代 思い出すんだってば
中納 星の無い夜？
月代 星を見ようって連れだされたのに紫陽花の中で見上げたのに、星降るところか、雨が降ってた

しばらく店内の音楽だけが流れる。静かな雨の夜の曲

月代 ……ホントはね。その日、喧嘩したの
中納 彼氏と
月代 ううん、親と
中納 そう
月代 それで家飛び出して、お酒飲んで、ぼーっと駅にいたら、声かけられて
中納 え、ナンパ？
月代 うん、星を見に行きませんかっ
中納 ついてったの？
月代 どうにでもなれーって
中納 そう…。親に反対されてたんだ。東京行くの
月代 うん、一大決心だったんだけどね
中納 それで、連れてかれた
月代 で、なんか酔ってたから…。あんまり覚えてないんだけど…。気づいたらね、松川に土合館（どあいだて）って公園あるの知ってる？
中納 ええ
月代 そこ連れてかれて。人いないし。だいたい星見ようって言うてるのに雨だし。ああ、やっちゃったなーって…。その人どんどん先に行くの
中納 それで？

月代 もう来ちゃったし、ついてった
中納 雨だったんでしょ
月代 酷い雨。それでね、土合館って低い山なんだけどね。そこをどんどん登ってくの
中納 大変だったね
月代 ほんと。私ヒールだったし、アイツ、気にせず登ってくし・・・ちょっと待っ
中納 てって言ったたら、ヒール脱いだらって
月代 脱いだの？
中納 うん、なんか。それで5分くらいかな。頂上についたんだけど。当たり前よね、
中納 星なんか見えなくて
月代 雨だからね
中納 そう。見えるわけないのよ
中納 それで？
月代 何も見えない空を見てた
中納 星は雲の上にはあるって
月代 そう。あとね、前世で会ってたかもしれないねって
中納 前世で会ってたかもしれないね
月代 何かの宗教の勧誘ですか？って
中納 聞いたの？
月代 いや、そんなんじゃないけどって。でもなんかね、雨に濡れた彼の顔見てたら、
中納 しみじみしちゃって。なんていうの？ドキドキとかじゃなくて、しみじみ。お
中納 ばあちゃんの家行つたみたいなの
中納 よくわからない
月代 そうよね。うん。なんかね、最初は雨のなかでこんなところ連れてきてって怒っ
中納 てたんだけど・・・ 結局、朝までそこにいた
中納 朝まで
月代 うん。朝になって、日が登って・・・。その公園さ。頂上、広場になって、芝
中納 生がはってるの。その芝生に、雨粒がついて、キラキラ光ってて。『見てくだ
中納 さい、星が落ちてきたんです』なんて
中納 ほんとロマンチストね
月代 うん。星は空にあるって言ってたのに
中納 それで？
月代 そこから駐車場までの道、裸足で登った所ね。両脇に一面あじさいが咲いて
中納 て・・・キレイだった
中納 ・・・・それで？
月代 それっきり
中納 え？

月代 また眠くなって・・・寝てたら、あつという間に駅にいた。・・・夢だったのか
なあって思ったけど、でも、足汚れてた
中納 それだけ？
月代 それだけ。それだけだけど、私はそのまま東京へ
中納 じゃあ、家には
月代 何も言っていないよ。飛び出してから
中納 どうするの
月代 どうするって言ったって。今更家にも戻りづらいし
中納 ・・・・なら、もういちど夢見てきたら
月代 え？
中納 今度もお酒のせいにしてさ
月代 え？
中納 お酒と私のせいにして、また明日行ってきなよ
月代 なにそれ
中納 私は好きだから。夢を見てる月代
月代 ・・・・中納って私のことずっと知ってるみたいなの言い方するよね
中納 そう？
月代 ずるいよ
中納 え？
月代 自分はちゃんと現実見て働いてるじゃん
中納 ちゃんとねえ
月代 中納も夢とかあったでしょ？それ諦めて働いてるんじゃないの？
中納 夢を見られる人と、夢を見せる人と、夢を応援する人がいるの
月代 なにそれ
中納 月代は、夢を見られる人
月代 それなんか馬鹿にしてない？
中納 してないよ、ちつとも。さっきの不思議な人は夢を見せられる人。私は見られも
しないし、見せられもしないし。だから、応援する人
月代 ずるい
中納 ずるくなんかないよ。どれも大事
月代 ・・・・私だっけ見れてない
中納 そんなことないよ。一回行っただけで十分資格持ち
月代 ・・・・
中納 私ね、月代。あんまり好きじゃないの。夢を見なさいとか、貴方はかけがえのな
いたった一人の人間だから、貴方の個性を大事にしなさいとか
月代 ・・・・それで

中納 そんなの夢が無い人にとっては辛いだけだし、別にやりたいこと無い人にとっても辛いから

月代 私へのあてつけ？

中納 違うって。ううん……。ね、空を見上げなくなったからだよ

月代 なにが？

中納 みんなが持っていた理由。星を持っていた理由

月代 空を……？

中納 空なんか見なくなっただって生きていけるでしょ。だから、空なんか見なくなっただ。そんな時間も勿体無くて

月代 そういふもん？

中納 そう。きつとそう。星は空にある方が良くなんて単純なことだって、忘れてしまっていたの

月代 何言ってるか分かんないよ

中納 あなたが言ったことでしょ。あなたは星を見られる人、夢を見られる人。…星。逃してあげる

月代 え

中納 星を、空に

月代 どうしたの、急に

中納 良いから

中納、お店の灯りを消す。すると、お店の天上に無数の星が映る
しばらく、その時が流れ

月代 ……中納。私ね

中納 頑張ってきたよ

月代 でも

中納 でも、はもう要らないよ

月代 もう少し頑張ってみる

中納 うん。空に行くわけでもあるまいし。空ほど遠くても、ちゃんと光れば届くしね

月代 ……うん

中納 行って来なさい。月代。その代わりに、お母さんにはちゃんと話してから行くの

月代 じゃあ、朝イチじゃないじゃん

中納 今日、帰ればいいでしょ

月代 ……うん

中納 分かってくれるよ。きつと。お母さんも一緒だったから

月代 え？

中納 ううん、別に。さ、そうと決まったら、善は急げ

月代 うん……。あ、お金

中納 良いよ、今日はおごり

月代 ほんとに？

中納 うん、行つてらっしゃい

月代 ありがとね。…それじゃあ

中納 ねえ、月代

月代 え、何？

中納 土合館に連れてつてくれた旦那さん。素敵な人だったでしょ

月代 ……うーん、どうだったかな。夜だったし、私酔ってたし…

中納 そう？…行つてらっしゃい

月代 行つてきます。また来るね

月代はけて

中納 ……いつてらっしゃい、月代。また来世で逢えたらね。(マスターに)…あ

あなたのこと覚えてなかったみたいですね

マスター そうですか

中納 土合館のあじさいと、星と、ネグロニー。思い出しますね。…もう一度、星を灯しましょうか

再度暗転し、星が輝く。劇終